

## 風水害・土砂災害から身を守るために

### ●事前に避難場所を決めておきましょう

避難とは「難」を「避」けること。小中学校や公民館などの指定緊急避難場所へ行くことだけが避難ではありません。住んでいる地域や状況、人によって方法は異なります。普段からどう行動するか決めておきましょう。安全な場所にいる人は、避難場所等に行く必要はありません。



### 行政が指定した避難所への立ち退き避難

マスク、消毒液、体温計、スリッパ、常備薬など自身が必要とするものを持参しましょう。



### 安全なホテル・旅館への立ち退き避難

通常の宿泊料が必要です。ハザードマップで安全かどうかを確認し、予約しましょう。

### 安全な親戚・知人宅への立ち退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておき、ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



### 屋内安全確保

ハザードマップで次の「3つの条件」を確認し、自宅にいても大丈夫か確認する必要があります。

- 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていないこと
- 浸水深より居室が高いこと
- 水が引くまで我慢でき、水・食料などの備えが十分にあること

避難に関する情報の詳細は、島根県ホームページをご確認ください



### ●土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警戒情報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、島根県と松江地方気象台が共同で発表する情報で、今すぐに土砂災害が発生してもおかしくない状況です。



### 自分の身を守るために早めの避難を心がけましょう

土砂災害に関する情報や、町から避難情報が発令されたときは、早めに近くの避難所などに避難してください。避難所などへの避難が困難なときは、**頑丈な建物の2階以上で、危険な斜面や崖から離れた場所に避難してください。**



### ●避難を開始するタイミング

あなたが避難しようと思ったとき、外は大雨など「外出したくない」と思わせる状況になっていることもあります。しかし、自分の身を守るためには、早めの避難(自主避難)が必要です。危険を察知したら速やかに避難しましょう。

#### 雨の降り方が異常だ



#### 山の様子がおかしい



#### 土砂災害警戒情報が発表された



#### 避難情報が発令された

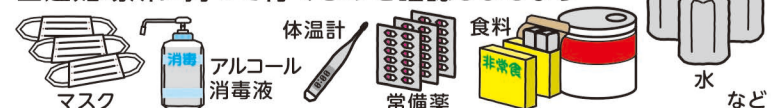


### ●感染症が収束しない状況でも「ためらわず」避難しましょう

新型コロナウイルスなど感染症が収束していない状況で、もし災害が発生したら、感染拡大や混乱をくい止めるために一人ひとりが自覚と思いやりを持って行動することが必要です。

#### 避難時に気をつけること

- マスクを着用して避難場所へ向かいましょう
- 避難場所を持って行くものを確認しましょう



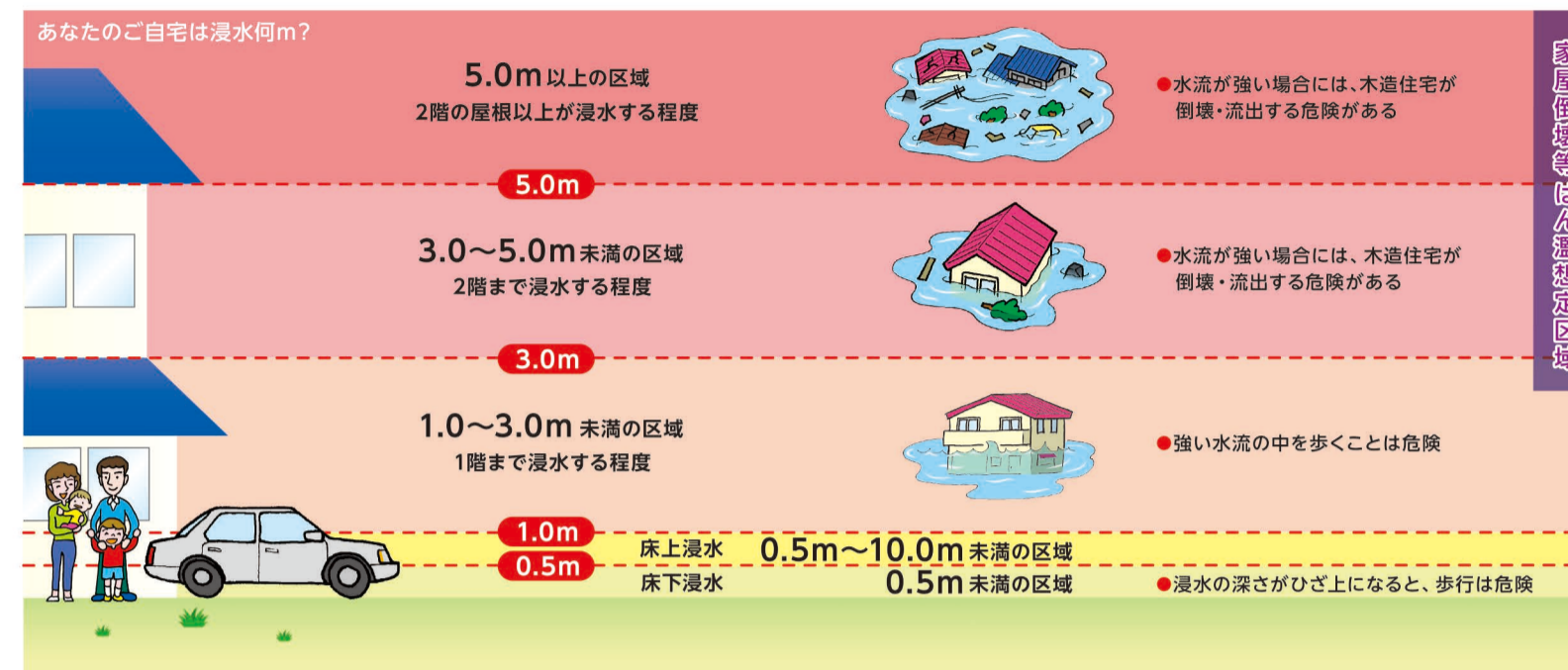
#### 避難場所で気をつけること

- 避難場所に入る前に体温チェックを受けましょう
- 避難場所のルールに従って行動しましょう

- ルール例**
- ・マスクを着用する・会話は距離をとって必要最低限にとどめる
  - ・こまめに体温をチェックする・こまめに手洗いや消毒をする
  - ・体調不良を感じたらすぐに運営スタッフに報告

## マップで浸水の深さを事前に確認しましょう

### ●浸水深の目安と危険度



- 洪水ハザードマップは、「想定最大規模降雨(概ね1000年に1度の大雨)」を想定して作成しています。
- 河川がはん濫しない場合でも、低い土地などは床上床下浸水などが起こる場合があります。
- 実際は、想定と異なる浸水深になったり、地図に表示された浸水区域外にも浸水する場合があります。

### ●避難行動等の目安となる河川水位

河川名	津和野川	高津川
観測所名	町田	旭橋
所在地	町田	枕瀬
堤防高	6.3m	7.3m
緊急安全確保発令 (必ず発令される情報ではありません)		
はん濫危険水位	川のはん濫など重大な災害発生の恐れがある水位 警戒レベル4「避難指示」の発令判断の目安となる水位	2.6m(名賀川合流点から上流) 3.6m(名賀川合流点から下流)
避難判断水位	住民が避難行動を行う目安となる水位 警戒レベル3「高齢者等避難」の発令判断の目安となる水位	2.2m(名賀川合流点から上流) 3.2m(名賀川合流点から下流)
はん濫注意水位	住民が避難行動の準備を行う目安となる水位 水防団が出動に備え、準備を行い、はん濫に関する注意喚起を行う目安となる水位	1.8m
水防団待機水位	水防団が自宅での準備を始める目安となる水位	4.0m
--- 普段の水位 ---	1.2m	2.3m

## 土砂災害の種類

